

Page 16 - Chapter 1

Sentence 1

一种不存在的语言 在弄清其结构后，借助有限的提示猜测文章大意。杜罗夫分析了现有信息并提交了答题纸。一切都是正确的，随后的面试几乎只是走个形式。

存在しない言語 その構造を理解し、乏しい手がかりをもとに何について書かれているか推測する。ドゥーロフは入手可能な情報を分析し、解答用紙を提出した。すべて正しく、その後の面接はほぼ形式的なものだった。

Sentence 2

新校长格里戈里 梅德尼科夫在纳尔瓦站附近一座构成主义风格的文化宫租下了场地，布罗茨基在年代曾在那里的诗歌大赛上亮相。

新しい校長グリゴリー・メドニコフはナルフスカヤ駅近くの構成主義様式の文化会館でスペースを借りていた。 年代にはそこで詩のトーナメントにプロツキーが姿を現したことがあった。

Sentence 3

英语课在一个被匿名酗酒者俱乐部占用的教室里上。历史课 在基督复临派信徒在课桌前练习赞美诗房间里。

英語は匿名アルコール依存症者の会が占拠していた教室で教えられた。歴史は アドベンチストたちが机で賛美歌を練習していた部屋で。

Sentence 4

旁边是跳舞退休老人俱乐部在狂欢。杜罗夫到达这个惊险环境的路程需要一个小时：先坐公交到地铁站，换乘，坐扶梯，再走一小段路。

隣では踊る年金生活者クラブが盛り上がっていた。この刺激的な状況にたどり着くまで、ドゥーロフには 時間かった：バスで地下鉄まで、乗り換え、エスカレーター、そして少し歩く。

Sentence 5

我记得那时的彼得堡。十二月，早晨。街道上昏暗的灯光，庭院的风洞，街道上的雪堆像冰川的冰碛一样缓慢移动。

私はあの頃のペテルブルクを覚えている。 月、朝。通りには薄暗い光、中庭の空力トンネル、道路を這う氷河のモレーンのような雪の山。

Sentence 6

仿佛整个城市团结一致，共同度过这几个月的黑暗。

この数ヶ月の暗闘を生き延びるために、街が一丸となったような感覚。

Sentence 7

朋友们借住的女房东住在大海街 号 几乎就在通向宫殿广场的拱门下。
友人たちが泊まっていた女主人はポリシャヤ・モルスカヤ通り 番地に住んでいた つまり、
宮殿広場に通じるアーチのほぼ中にあった。

Sentence 8

打扰她很不礼貌，所以我们穿过小巷来到电车线路，想在漫长的路线上睡一觉。
彼女を煩わせるのは失礼だったので、私たちは路地を抜けて路面電車の線路まで行き、長い路線
で眠ろうとした。

Sentence 9

头顶上的灯笼摇晃着，穿着大衣的人们匆匆走过，与其说是赶去上班，不如说是急着躲避寒风。
上では街灯が揺れ、オーバーコートを着た人々が斜めに駆け抜けていた 職場に向かうという
より、風から逃れようと急いでいた。

Sentence 10

电车门像红军水手一样砰砰作响，我们没能打盹。当我们发现通往罗斯特拉尔柱内部的门后有流浪
汉在睡觉时，在那里消磨时间的希望破灭了。

電車のドアは赤い水兵のように音を立てて閉まり、うたた寝はできなかった。ロストラ柱の内部に通じるドアの向こうに眠っている浮浪者を見つけたとき、そこで時間をつぶす希望は消えた。

Sentence 11

从砰砰作响的门里挤出来，在冻僵的人群中推搡着，杜罗夫也冲向地铁：我记得车站入口处的队伍。大约一百米长。最危险的地方是扶手，不抵抗的人会被挤到那里。

ボタンと閉まるドアから転げ出て、凍った外套の人々の間をかき分けながら、ドゥーロフも地下鉄に急いだ：駅の入り口への行列を覚えている。メートルほどあった。最も危険な場所は手すりで、抵抗しない者はそこに運ばれていった。

Sentence 12

他是班上最小的学生。起初，他和一个叫塔西娅的女孩同桌，她喜欢他。

彼はクラスで最年少だった。最初は、彼のことが好きだったターシャという女の子と机を並べていた。

Sentence 13

同学们回忆说，塔西娅不知为何给邻座带铜币、戈比，他把它们倒进书包里。

同級生たちは、ターシャがなぜか隣の席に銅貨やコペイカを持ってきて、彼はそれをカバンに入れていたと思い出した。

Sentence 14

后来杜罗夫占据了第一排座位，他大部分时间独自坐在那里，弓着背趴在笔记本上，或者观察从下往上数第三行并没有变得更清晰 黑板上涂写的东西。

その後、ドゥーロフは最前列の席を占め、そこでたいてい一人で、ノートにかがみこんだり、黒板に書かれたもの 下から 行目は明瞭にならなかった を眺めていた。

Sentence 15

直到高年级，他都没有朋友。唯一的例外是一个和他一起读了不到两年的同学。这个学生仅凭他的存在就拯救了这些普通教育班免于解散。

上級学年になるまで、彼には友達がいなかった。例外は、 年弱一緒に学んだ仲間だった。この生徒は、その存在だけで一般教育クラスを崩壊から救っていた。

Sentence 16

每天早上，斯拉瓦坐着配有保镖的豪华轿车去上学，透过车窗看着睡眼惺忪的基洛夫区。

毎朝、スラヴァはボディガードを乗せたリムジンで学校に向かい、窓から眠たそうなキーロフ地区を眺めていた。

Sentence 17

他会在三个街区外让车停下，走上人行道，把双手穿过背包带，朝文化宫走去，不看马路。那辆豪华轿车假装要停车，慢慢地跟在后面。

彼は ブロック手前で車を止め、歩道に降り、リュックサックのストラップに腕を通し、車道を見ずに文化会館に向かって歩いた。そこでは、駐車しようとするふりをして、リムジンがゆっくりと這っていた。

Sentence 18

这个年轻人是该市赌场大王米哈伊尔 米里拉什维利的儿子。

この若者は市のギャンブル王ミハイル・ミリラシュヴィリの息子だった。

Sentence 19

普通教育班里聚集着知识分子家庭的孩子，并非每个家庭都能轻松支付引入的学费。例如，对杜罗夫一家来说，这是一笔不小的开支。

一般教育クラスには知識人の子供たちが集まっており、導入された学費を楽に払える家庭ばかりではなかった。例えば、ドゥーロフ家にとってそれはかなりの出費だった。

Sentence 20

按照好莱坞 宝莱坞戏剧的规律，斯拉瓦与那些在社会车厢中占据屈辱的第二层甚至第三层铺位的骄傲孩子们的碰撞，必然会导致冲突。

ハリウッド・ポリウッド映画の法則によれば、社会的な列車コンパートメントで屈辱的な 段目、いや 段目を占める誇り高い子供たちとスラヴァの衝突は、避けられない対立につながるはずだった。

Sentence 21

然而，故事发生在知识分子的摇篮，而不是在好莱坞 宝莱坞。斯拉瓦彬彬有礼，得体，学习成绩也不比其他人差。

しかし、物語はインテリゲンチヤの揺りかごで展開しており、ホリボリではなかった。スラヴァは礼儀正しく、きちんとしており、他の生徒と同じくらいよく勉強した。

Sentence 22

课间休息时，这位百万富翁的儿子跑去糕点店，冲进教室时手里拿着油腻腻的糕点袋。杜罗夫几乎是斯拉瓦唯一交的朋友。

休み時間には、億万長者の息子はお菓子屋に走り、油で汚れたペストリーの袋を持って教室に飛び込んできた。ドゥーロフはスラヴァと友達になったほぼ唯一の人物だった。

Sentence 23

班级生活热闹非凡。领头人季耶夫斯基和帕佩尔诺创建了自己的国家并起草了宪法。班级玩起了民主游戏，选举总统等等。

クラスの生活は活気に満ちていた。リーダーのジエフスキーとパペルノは自分たちの国を考え出し、憲法を書いた。クラスは民主主義ごっこをし、大統領を選んだりなどした。

Translator Notes

- Page 16 continues Chapter 1 about Durov's school life
- Narvskaya - metro station in St. Petersburg's Kirovsky district
- Joseph Brodsky - Nobel Prize-winning Russian poet who emigrated to US
- Constructivist architecture - early Soviet modernist style
- Red sailors - reference to revolutionary Bolshevik sailors
- Rostral Column - famous columns on Vasilyevsky Island, St. Petersburg
- Palace Square - main square in St. Petersburg with the Winter Palace
- Mikhail Mirilashvili - Georgian-born businessman who built gambling empire in St. Petersburg in 1990s
- Slava Mirilashvili - classmate of Durov, whose family's tuition helped fund the school